

の誤操作の可能性を言い、③今度はクローン iPhone 説、と戦法を替えてきました。そして更に、④新しい説を出そうとしているようです。とてもまともな状態とは思えません。科学を争点にしているのですから、科学的な論争をしろと言いたいです。

そもそも、あらゆる可能性を議論するなら、スマホを操作したのが被害者自身である可能性にも、真犯人である可能性にも言及しなくてははいけないはずです。本来なら、あらゆる可能性が論じられた時点で、「疑わしきは被告人の利益に」の大原則が適用されても良いのです。客観的に事実を見つめ、受け止める。そのことが裁判所と検察には求められていると思います。

再審の争点は実質的に「LINE 問題」に絞られており、決着の日はそう遠くないと確信しています。次の6月23日の協議で今後の方向性も見えてくると期待していますが、裁判所には検察の迷走を止めて、一刻も早い再審開始と釈放を決定してほしいと思っています。年内には帰れるかもしれない…そう信じて前向きに日々を過ごしてまいります。

5月12日には（千葉刑では5年ぶりとなる）運動会がありました。個人的には長野刑以来、3年ぶりです。久しぶりに大きなイベントを楽しむことができました。若い受刑者たちと競った70m走や工場対抗リレーの結果は、案の定、厳しいものでしたが、45歳を前にしっかりとダイエットもして、若返りに成功したような気はしています。老いにも負けたくはないので、これを機に運動能力向上を目指します！！ まあ、来年の運動会までには出所出来るつもりでありますし、そのために出来ることを最優先で頑張っていきます！！ どうか引き続き、ご支援とご注目をお願い致します。（5月17日・加藤映次）

天神さんに祈る（第11回）

菅原神社（神奈川県小田原市）

とおりゃんせとおりゃんせ / ここはどここのほそみちじゃ / てんじんさまのほそみちじゃ と唄われるわらべ歌に出てくる「てんじんさま」は当然、天神様を指しますが、これは一体どこの天神様なのでしょう。

『通りゃんせ』発祥の地といわれる場所はいくつか候

補があり、神奈川県にある菅原神社（別名：国府津神社 / こうづじんじゃ）、または埼玉県川越市にある三芳野神社ではないかとされています。菅原神社を舞台にしているという説では、お参りのために箱根の山を越えていっても、帰る頃には関所が閉まってしまうので、「行きはよいよい 帰りはこわい」という解釈になるのだそうです。

西暦994年の6月晦日に、当地の海岸に村人が集まっているとき、木船が漂着し、中には立派な身なりの貴人がいたそうです。村人はこの貴人に対して、麦飯に麦粉をかけて接待し、一室を設けて住まわました。その後、村人の夢にこの貴人が現れ、「京都の菅原様を崇敬すれば幸多し」と告げました。村人が部屋に行ってみると貴人の姿はなく、菅原道真公の肖像が残っていました。村人はこれをご神体として祀ったという話です。所在地：神奈川県小田原市国府津 1752

